

安全報告書

2008



お客様へ

いつも千葉モノレールをご利用いただきまして有り難うございます。

当社におきましては、平成19年度についても、引き続き安全管理体制の強化を図り、安全のための投資を最優先するとともに、計画的な施設の維持整備を行い、安全・安定輸送に努めてまいりました。

人間の能力には限界があります。どんなに注意を集中していてもミスをするることがあり、正確な作業を期待しても完璧ということはありません。誰でも「ヒヤリ」としたり、「ハット」したり、「小さなミス」をした経験を持っています。当社では、社員一人ひとりから「ヒヤリ」「ハット」「小さなミス」を各職場で報告することにより、お互いに信頼し合える風土づくりを目指すとともに、それらの情報を共有して、事故発生を芽のうちに摘み取ってしまう方策を職場の全員で考えています。

「今、すぐできることは何か？」を考え、事故発生の確率を少しでも減らせるよう、どんなに小さくてもいいから、「私たちができる対策を速やかに実行すること」を目標として地道に取り組んでまいります。

現場第一線で働く運転士、駅社員だけでなく、車両を検査修繕する社員、夜間に軌道、電気設備を点検保守する社員、一言で言えばモノレールを縁の下から支える社員もかけがえのない大切なお客様の命をお預かりしていることの責任をしっかりと認識し、引き続き「コーポレートスローガン」、「企業理念」の下、基本動作を確実に励行し、お客様の視線に立って安全で安心してご利用いただける輸送サービスの提供に努めてまいります。今後とも、利用者の皆様、関係者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

千葉都市モノレール株式会社
代表取締役社長 岡田和哲

(コーポレートスローガン)
安全・笑顔・真心



(企業理念) 大空かける千葉モノレール
千葉モノレールは、お客様に安全で快適なサービスを提供します。
千葉モノレールは、地球環境を大切にし、社会に貢献します。
千葉モノレールは、創意と工夫で活力ある会社にします。

なお、本報告書は、軌道法第26条(鉄道事業法第19条の4に準用)に基づき作成し公表するものです。

1. 安全に関する基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社では、安全管理規程の中で、安全に関する基本的な方針を定め、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、軌道施設、車両及び社員を総合活用して輸送の安全を確保します。

また、そのための行動規範を下記のとおり定め、全社一丸となって安全確保に努めています。

(安全に係る行動規範)

安全の確保は輸送の生命である。
法令及び規程の遵守は安全の基礎である。
執務の厳正は安全の要件である。
事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

当社では、開業以来「責任事故」は発生していません。
今後とも責任事故ゼロの継続を目指して安全輸送に取り組むとともに、極力、輸送障害を無くし、安定輸送に努めて参ります。

2. 安全重点施策及びその実施状況

当社では、営業開始後20年を経過し、軌道施設、車両の経年劣化が進み、保守量の増大やトラブルの発生が懸念される状況となってきておりますが、トラブル発生を未然に防止するため、安全確保を最優先に適切かつ重点的な施設整備を実施することにより、安全・安定輸送を目指していきます。

(1) 軌道施設の修繕、更新

分岐器の故障防止対策

19年度は輸送障害となる分岐器転換不能が2件発生しました。分岐器は列車

運行上、基本的で最も重要な設備であることから、徹底した維持管理を図る必要があります。このため、転てつ器のオーバーホール、電動機の交換等を計画的かつ綿密に実施し、故障防止に努めています。

A T C 設備の更新

列車運行の心臓部である A T C 設備については、地上設備を構成する各種電子素子に交換時期が到来していることから、計画的に更新整備を進めています。

電車線の取替

一次開業区間等において、正電車線の摩耗が進行している部分が散見されることから、順次取替工事を行っています。



正電車線の取替工事

(2) 車両の更新、改造等

車両の更新

開業に合わせて製造した第一次車両は 20 年を経過していることから、その更新を順次進めていく必要があります。新製車両は、有識者をメンバーとする新型車両デザイン委員会で決定した車両デザインを基に、詳細設計を進めていますが、新たに制定される「軌道に関する技術上の基準を定める省令」に則したものとするため、これらを含めた具体的な仕様を検討しているところであります。

車両の改造

韓国地下鉄火災に係る天井の耐燃焼性・耐溶融滴下性及び通常時に閉じる構造を有する貫通扉などの改造、また、J R 福知山線事故に係る運転状況記録装置及び運転士に異常が発生し緊急停止した場合の通報装置の新設については、計画中の車両更新時に実施することとし、既存の車両については、新車の導入計画と併せて改造を検討しています。

車両の保守整備

車両搭載機器の故障対策として、S I V (補助電源装置)、パンタグラフ、制御器、A T C 機器等の重要部品の交換、点検強化を図りました。また、バリアフリー対策として、お客様側扉に車号、扉位置が明記された点字シールを貼付しました。

(3) 駅設備等の整備



動物公園駅ホームエレベーター

バリアフリー対策の一環として、5駅において自動精算機前に点字ブロックの敷設を行い、19年度で全駅完了しました。

また、千葉市により、エレベーターを2駅（動物公園駅、天台駅）に設置されたところであり、未設置駅についても22年度までに順次設置されることとなっています。

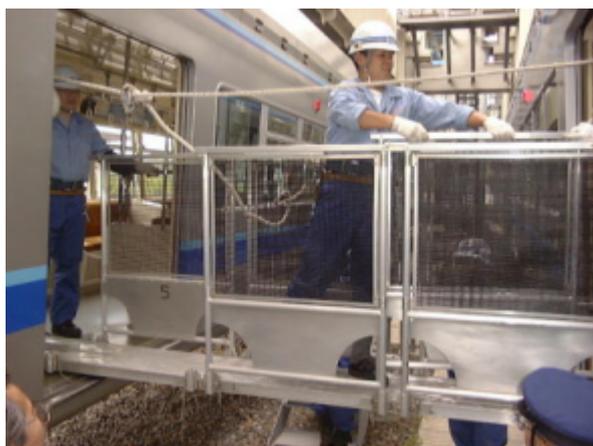
その他、救急救命用具としてAED（自動対外式除細動器）を千葉駅、千葉みなと駅、都賀駅、千城台駅の4駅に設置しました。

(4) 異常時対応能力の向上

懸垂式モノレールの特殊性及び当社の業務体制を踏まえた列車駅間停車等の異常時対応について、想定が可能な限り救援策等を事前に検証しておくとともに、訓練の実施により係員の対応能力の向上に努めています。運転区における併結救援訓練、駅務区及び技術部における分岐器手回し訓練、また、異常時の緊急呼び出し訓練等の各部署合同の対応訓練を実施しました。



救援装置（縦取り装置）



救援装置（横取り装置）

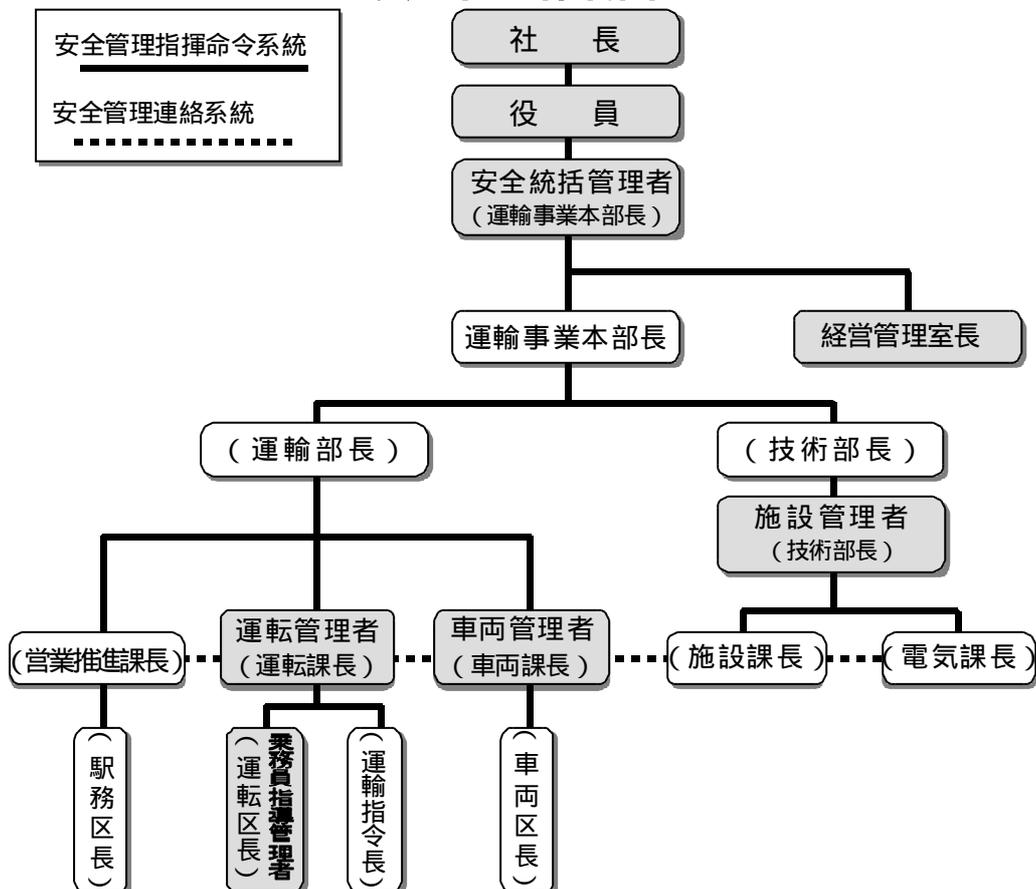
3. 安全管理体制

(1) 安全管理体制の概要

「安全管理規程」において、社長をトップとする安全管理体制を定めています。「社長」、「安全統括管理者」を始めとする各責任者それぞれの責務を明確にした上で、輸送の安全確保のために必要な基礎的情報その他の情報を相互に緊密に連絡・協議し、安全対策を講じることとしています。

社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を有する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
経 営 管 理 室 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。

安全管理体制図



4 . 安全管理の方法

(1) 安全対策委員会

安全対策を検討・実施するための安全対策委員会を定期的（年4回）に開催しています。また、重大な事故・輸送障害等が発生した場合には、臨時安全対策委員会を召集し、原因究明と再発防止対策について精力的に意見交換し安全の徹底を図っています。

(2) 事故・災害対策本部

鉄道事故が発生した場合、または自然災害が発生する恐れがある場合には、それぞれ事故対策本部、災害対策本部を設置し、緊急措置等に対応することとしています。19年度は台風接近による災害対策本部を2度設置し、速度規制等風水害の未然防止対策を講じています。

(3) 役員等の安全活動

社長以下役員等による職場巡視は、夏季及び年末年始の輸送安全総点検に併せて実施し、現場の業務執行状況を確認するとともに、安全上の改善事項がある場合には現場長に改善通告するなどの安全活動を行っています。

(4) 社員の意見反映

個々の社員が持つ安全に関する意見を業務改善に活かすため、各現場において定例訓練等の場で意見交換を行っています。また、運転区においては「意見箱」を設置し、ヒヤリ・ハットについて報告しやすい環境を整えるとともに、必要に応じ運転士の意見を求めるなど、安全対策等に必要な施策を積極的に推進しています。

5 . 安全管理体制の見直し

(1) 安全管理規程の見直し

「安全管理規程」において、安全に関する基本的な方針は必要に応じ見直すこととしています。19年度においては、20年度から駅業務を全面委託することとしたことに伴い、関係する条文を追加するとともに、「委託業務取扱規程」を改正しました。

(2) 内部監査の実施等

安全管理体制のルールがどの程度遵守され徹底されているか、また、安全管理が効果的に実施され、維持されているかを検証するため、年1回の内部監査を実施しています。19年度は、2名の内部監査員を養成するとともに、9月から12月にかけて各職場の監査を実施しました。なお、内部監査における指摘事項については、関係職場において改善措置を講じています。

このような輸送の安全確保の取り組みを効果的なものとするため、安全方針等の計画(Plan)を実行(Do)し、評価(Check)して改善(Act)に結びつけ、その結果を次の計画に活かすといった仕組み(PDCAサイクル)を活用し、更なる安全確保に向けて取り組んでいます。

6. 事故等の概要と再発防止措置

<平成19年度の主な事故(運転事故、輸送障害、インシデント)と再発防止策>

(1) ポイント故障(輸送障害)

5月17日及び6月9日、千葉みなと駅構内のポイント故障による長時間の列車遅延が発生しました。故障原因が転てつ器、電動機にあることが判明したため、当該機器の交換を実施しましたが、今後も他のポイントも含め、経年部品の早期交換等、故障の未然防止対策を実施していくこととしています。

(2) 車両故障(輸送障害)

10月24日、県庁前駅発最終電車に車両故障が発生し、復旧に長時間を要しました。原因は制御装置の動作不良と判明したことから、再発防止のため、列車の検査の際のチェック項目追加と重要部機器の整備の際に熟練者立ち会いを義務付け、故障の未然防止の強化を図っています。

7. 行政指導等に対する措置の状況

19年度、行政からの指導等はありませんでした。

8 . 人材教育

運輸事業本部は、運輸部と技術部があり、部門毎に年間の計画に沿って教育・訓練を実施しておりますが、転てつ器訓練、閉そく及び信号教育、A E D研修など共通する内容の教育は、運輸事業本部として合同で行っています。特に、視野を広げて外部からの知識を取り入れるため、社外研修に積極的に参加させるなど、社内教育訓練と併せて、情報の収集等を行い技術と安全意識の向上を図っています。

9 . 訓練

(1) 異常時対応訓練

分岐器手回し訓練 (5月29日～31日)

ポイント故障により列車の運行ができなくなった場合に、手動で分岐器を取り扱う訓練を駅務区係員と技術部関係社員により実施しました。



分岐器手回し訓練

非常招集訓練等 (8月31日)

防災の日にちなみ、役員を含む社員多数による非常招集訓練を行い、緊急呼び出し、情報伝達等の確認を行いました。また、駅における混乱防止訓練、運転の一旦停止、減速運転訓練のほか軌道設備及び電気設備の緊急点検訓練を実施しました。

運転に関係する作業訓練 (6月4日～10日、11月20日～22日)

異常時における運転に直接関係する作業について、駅務員としての基礎知識と作業の方法について、列車在線リセット等の実務的な訓練を実施しました。

(2) 維持、向上のための教育、訓練等

鉄道係員としての必要な日常の業務に直接関係する知識、技能については担当毎に教育訓練を行っているほか、特に専門分野については部外の研修等を積極的に活用しています。

10. 利用者とのコミュニケーション

- (1) 広くお客様からのご意見を聞かせていただき、業務の参考とさせていただくため、「お客様の声」箱を全駅に設置しています。お客様の声に対しては、お応えできるものから実施していくことにしています。
- (2) 犯罪などから特にお子様への危害を防止するため、子供110番に協力しています。更に、駅、車内での犯罪行為を防止するため、駅務員、警備員等による巡回を強化しています。
- (3) テロに対する警戒は、駅、車内における不審物の取扱いについて、車内放送等によりお客様に協力をお願いしていますが、防犯カメラによる監視と巡回警備による不審者に対する警戒も強化しています。

11. 関係者との協働

- (1) 警察署及び消防署との旅客避難誘導合同訓練（6月10日、3月25日）

列車が駅間に停止した場合を想定し、千葉北警察署と千葉東警察署との合同訓練（6月10日）を実施しました。また、稲毛消防署、若葉消防署と合同で旅客の避難誘導訓練（3月25日）を実施しました。懸垂型モノレール特有の避難装置の組み立て、旅客誘導方法、道路上での安全確保など、消防署員との連携作業の検証と確認を行い、異常時に対応できるよう、より実践的な訓練に心掛けています。



（脱出シュート訓練）



（梯子車使用訓練）

消防署との避難誘導合同訓練

(2) A E D 取扱い研修等
(1 1 月 1 3 日 ~ 1 7 日)

有人駅 4 駅に設置した A E D の取扱いについての研修を行い、救急救命の知識の習得に努めています。

このほか、介護施設から講師を招き、認知症に対する知識を習得するなど、安全で的確な旅客案内に努めています。



A E D 取扱い研修風景

本安全報告書に関連して、皆様からのご意見をいただければ幸いです。

連絡先 千葉都市モノレール株式会社
経営管理室 企画班 0 4 3 - 2 8 7 - 8 2 1 6